

CHACONNE

DEALERS OF FINE VIOLINS

美しい音楽が溢れる未来へ。



シャコンヌはイタリアのオールド楽器から子供用の楽器まで、また貴重なフレンチ弓から新作弓までの、幅広い弦楽器を販売しています。

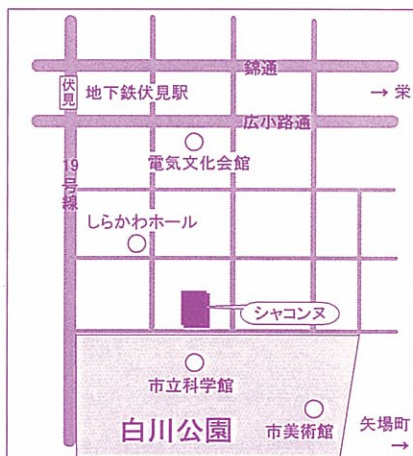
また、質の高い技術を持った専門家が修理、修復を行ない、あらゆるご要望にお応えすることができます。

世界の遺産とも言うべき貴重なイタリアン・オールドを数多くコレクションし、演奏家の方々にレンタルをしています。

これらコレクションはまた、広範な研究をするための基礎となり、特に「良い音」と「ニス」の解明に多いに役立っています。

過去の製作家による作品を研究することで、「良い音とは何か」について深く理解し、良い音を生み出すための技術を開発してきました。

そこで得られた知識は、オールド楽器の調整だけでなく、全ての楽器の調整にも活かされています。



シャコンヌ名古屋店

名古屋市中区栄2丁目11-19

熊田白川ビル2F・3F

TEL 052-202-1776

3F: 店舗・工房

2F: チェロ・書籍・楽器レンタル・サロン

営業時間/10:00~18:30

定休日/日・月曜

<http://www.chaconne.info>

(毎月更新しています)

地下鉄伏見駅5番出口より徒歩5分

栄駅・矢場町駅より徒歩10分



The 35th Kurashiki Orchestra Regular Concert

倉敷管弦楽団

第35回定期演奏会

日時

2009.11.15 [SUN]

午後2時30分開演 (午後2時開場)

場所

倉敷市民会館



指揮 堤 俊作

主催：倉敷管弦楽団 共催：倉敷市文化連盟
後援：岡山県、倉敷市、第25回国民文化祭岡山県実行委員会、RSK山陽放送、OHK岡山放送、KSB瀬戸内海放送、岡山県郷土文化財団
助成：エネルギー文化・スポーツ財団



倉敷市長 伊東香織

倉敷管弦楽団第35回定期演奏会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

「美しい音色とよいアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に、倉敷管弦楽団の皆様は、第一線で活躍する指揮者や演奏家と数々の共演を積み重ねてこられました。その活動の歴史は、本市の音楽文化の大きな足跡となっております。

倉敷管弦楽団設立当初から演奏会の主会場である倉敷市民会館は、昨年から一年間の休館を経て、今月改修・竣工しました。大ホールでの音色は、まさに倉敷管弦楽団の合言葉にもふさわしいものと、本日の演奏を心からご期待申し上げます。

近年、文化の力は、まちの元気の源であり、まちの魅力そのものであると、広く認識されております。本市でもその力に注目し、市民の皆様方と手を携えながら「くらしき文化」を盛り上げ、本市の魅力を大きく発信していきたいと考えております。

最後になりましたが、本公演の御成功をお祈りいたしまして、私のあいさつとさせていただきます。



倉敷管弦楽団
団長 田辺幹夫

私たちの倉敷管弦楽団は、今年で35周年の節目を迎えました。ここまで来ることができたのは市民の皆様のあたたかいご支援と団員の努力によるもので、厚く御礼申し上げます。次第です。

これまで定期演奏会は倉敷市民会館で毎年5～6月頃に行っていましたが、今年は市民会館の工事のため、11月になりました。それだけ練習に十分時間をかけたので、例年以上によい演奏を聞いて頂けると思います。

今年の指揮は全国的に著名な堤俊作氏で、私たちとしては昭和59年の第10回定期以来の久しぶりのご登場です。満を持しての演奏をどうか最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

A. ハチャトゥリャン：組曲「仮面舞踏会」

- I. ワルツ
- II. ノクターン
- III. マズルカ
- IV. ロマンズ
- V. ギャロップ

P. I. チャイコフスキー：弦楽のためのセレナード ハ長調 Op.48

- 第1楽章 ソナチネ形式の小品
- 第2楽章 ワルツ
- 第3楽章 エレジー
- 第4楽章 (ロシアの主題による) フィナーレ

————— 休憩 —————

A. ドヴォルザーク：交響曲第8番 ト長調 Op.88

- 第1楽章 アレグロ・コン・ブリオ
- 第2楽章 アダージョ
- 第3楽章 アレグレット・グラチオーソ
- 第4楽章 アレグロ、マ・ノン・トロツポ

萌友出版の新刊紹介

「焦土に聞こえたアンサンブル」 大饗 丈 著 1500円(税別)

「どんなに辛いときでも、音楽が救ってくれる。改めてこの物語が教えてくれました。」
阿川佐和子(帯より)

萌友出版・(株)玉島活版所

TEL: 086(523)0033 FAX: 086(523)0038 <http://www.t-inform.co.jp>



A. ハチャトゥリャン (1903-1978) 組曲「仮面舞踏会」

ハチャトゥリャンは、旧ソビエト連邦のひとつ、グルジア共和国に生まれた。幼少期、西欧の音楽教育は特に受けなかったが、グルジア、アルメニア、アゼルバイジャンなどの民族音楽に親しみ、このことが彼の音楽性を育てた。

《仮面舞踏会》はロシアの文豪レーンモントフの戯曲であり、これに「奇跡の驚き」を受けたハチャトゥリャンが音楽をつけ、また、組曲として編曲した。

物語の舞台は、帝政ロシア末期の貴族社会。主人公アルペーニンは、破産寸前の若い公爵の代わりに博打を打ち、助ける。後日、アルペーニンは、妻ニーナと仮面舞踏会へ出かけ、そこでニーナは腕輪を無くすが、それを公爵に口説かれていた未亡人が拾い、未亡人は公爵にその腕輪をあげてしまう。

公爵の腕輪を見て二人の恋仲を疑ったアルペーニンは激しい嫉妬から、次の仮面舞踏会のときに妻を毒殺する。しかし、後にそれが誤解であったと知り、アルペーニンは発狂してしまうのだった。

I ワルツ

最後の舞踏会から帰宅したニーナが、有頂天で舞踏会の回想をする場面のために作曲された。ハチャトゥリャンが一番探求したテーマだが、それはある日突然耳に聞こえて、そこからワルツはすぐに出来上がったのだという。

ヴィオラとファゴットによって、憂愁をおびた導入が歌われ、次にヴァイオリンとヴィオラが核となる主題を奏する。リタルダントやレントによって力を強めたメロディは中間部へと続き、最後にもう一度主題が奏される。

P. I. チャイコフスキー (1840-1893) 弦楽のためのセレナード ハ長調 Op.48

皆さん、チャイコフスキーはよくご存知のことと思います。交響曲はもちろんのこと、協奏曲、管弦楽曲、オペラ、バレエ、室内楽など幅広いジャンルにおいて作品を残した、ロシアの偉大な作曲家ですね。

本日演奏する弦楽セレナードは、1880年、彼が40歳の時に、約三週間で作りあげた曲です（因みに1880年は日本で君が代が作曲された年だそうです）。数年前ではありますが、第1楽章の冒頭部が某TVCMに使われていたので、曲名を聞いてピン！とこない方も曲が始まればきっと、「ああ！」と思われることでしょう。

II ノクターン

まだ疑惑を持っていないアルペーニスが、最初の舞踏会で妻より先に帰宅した際、回想する場面のために作曲された。主題はヴァイオリンのソロで表現され、クラリネット、ファゴットの合いの手をはさみながら美しく叙情的に歌い継がれていく。

III マズルカ

仮面舞踏会の華やかさや幸福と、その裏にはらむ悲劇や不幸をあらわす。軽快な主題と、中間部にその転回形として現れる短調な木管のメロディが、まさに喜びと悲しみの表裏一体を表しているようである。

IV ロマンズ

ニーナが最後の舞踏会で、参加者の求めに応じて踊る場面。この歌詞には、妻と別の男との恋仲に嫉妬する主人公の心情が表されているが、レーンモントフはこれをニーナに歌わせている。

この主題はヴァイオリンから始まり、ヴィオラとチェロへ、そしてクラリネット、オーボエの中間部をはさんで、トランペットへと引き継がれ、最後はトゥッティで奏された後、静かに終わる。

V ギャロップ

劇の終了後に演奏されるもの。観客のために作ったと考えられ、悲劇的な内容とは直接には関係がない。打楽器の効果とともに、木管の主題を中心に熱狂的に進んでいき、途中トランペットと弦、ウッドブロックの騒がしい楽想も登場する。悲劇を忘れさせるような華やかな楽曲である。

(米村奈保子)

この弦楽セレナードについて、チャイコフスキーは『内面的衝動によって作曲され、真の芸術的価値を失わないものと感じている』、『初演の日を待ちきれないほど、深くこの曲を愛している』と述べたそうです。非常にナイーブな性格で、作品の出来をひどく気にする彼にしては珍しく自信満々、いや、会心の作品だったようです。この曲は、後に彼自身が指揮した公演でも、何度かプログラムに組み込まれました。もちろん、公演の都度好評を博したといえます。

それではごくごく簡単ではありますが、各楽章について見ていきましょう。

第1楽章 <ソナチネ形式の小品>

力強い全合奏で始まり、その印象的なモチーフは三回繰り返されます。続く二つの主題部では、各楽器が会話のように掛け合い・受け渡ししながら、ユニゾンの盛り上がりへと向かいます。最後は、冒頭のモチーフによるコーダで締めくくられます。

モーツァルトに対し敬愛の情をささげていたチャイコフスキーは、この楽章に関し、『モーツァルトに対する崇拜、彼の様式の意図的模倣であり、その手本に近いものであれば幸いである』と述べています。

第2楽章 <ワルツ>

独特のセンチメンタリズムをもった優雅なワルツです。このワルツは初演のときから喝采を博し、

A. ドヴォルザーク (1841-1904)

ドヴォルザークの作品は、ドヴォルザーク自身の温かい人柄と、ボヘミアの美しい自然が反映されているが、その要素が最も理想的に現れたのが交響曲第8番である。

ドヴォルザークはプラハの南西50キロほどにあるヴィソカー村を訪れて以来、ここの土地のあまりの美しさに魅了されていた。そこで、この土地の持ち主である義兄のコウニツ伯に許諾を得て、ドヴォルザークは1884年に別荘を建てたのである。この別荘の場所の北側には森が広がり、南側は池のある谷間へと視界が開け、さらにその先には教会のある丘が見えていた。ドヴォルザークは自然を心から楽しみ、また近くを通りがかる村人たちと気さくに言葉を交わしていた。もちろん、村人たちはこの別荘の住人が世界的な作曲家であることなどは知る由もなかったのである。こうしてドヴォルザークは何もかも忘れてこの交響曲第8番に没頭した。

こうしてこの交響曲第8番は1889年11月に完成され、翌1890年2月2日、ドヴォルザークの指揮するプラハ国民劇場管弦楽団（有名なチェコ・フィルの前身）によって初演され、成功を収めた。しかし、作品の出版にはいささか問題があった。ドヴォルザークの作品はそれまでは主にベルリンのジムロックから出版されていたが、ここに来てドヴォルザークとジムロックとの間は支払いの件で雲行きがあやしくなっていたのである。

こういった状況の中、ジムロックは新作の交響曲第8番に対しては需要があまりないという理由でドヴォルザークに極端に低い謝礼を呈示したが、さすがのドヴォルザークも怒りが爆発、ジムロッ

アンコールして演奏されたそうです。

第3楽章 <エレジー>

冒頭の主部は長短両調の性質をもち、まさに哀歌的情緒に溢れて響きます。曲の中心となっている中間部は、甘く美しく、時に熱く歌われます。

第4楽章<(ロシアの主題による)フィナーレ>

ロシア民謡「緑の牧場には」の旋律が柔らかに歌われ、次いで「青いリンゴの木の下で」の旋律が軽快に続きます。コーダでは、第1楽章の冒頭部のモチーフが重厚に奏でられ、最後に「青いリンゴの木の下で」の旋律が再び登場し、軽妙に幕を閉じます。

(鈴木文香)

交響曲第8番 ト長調 Op.88

クの申し出を断り、この作品の権利をジムロックの商売仇であるロンドンのノヴェロ社に渡したのである。この経緯がもとで、その昔からこの交響曲に対しては《イギリス》《ロンドン》などと内容とは全く無縁の副題が与えられることもあったが、最近ではこのように表示する例はほとんどない。曲は第7番同様に4つの楽章よりなる。

第1楽章：アレグロ・コン・ブリオ。ソナタ形式。いくらか物憂げに始まるが、小鳥のさえずりのようなフルートがあたりを一気に明るくし、曲は急速に活気を帯びる。

第2楽章：アダージョ。ソナタ形式。寂しい気分と牧歌的雰囲気が交錯する。中間部の激しさは昔日のチェコの栄光と闘いを描いていると言われる。

第3楽章：アレグレット・グラツィオーソ。即座に魅了される瑞々しく美しい旋律に始まる。中間部の旋律はドヴォルザークのオペラ「頑固者」の中から流用したもの。

第4楽章：アレグロ・マ・ノン・トロppo。変奏曲を取り入れた3部形式。輝かしいトランペットに始まり、明るさと活気、ボヘミア的な香りなどが一体となって、華やかに曲を閉じる。

(高尾暢子)



堤 俊作

1970年、桐朋学園大学を首席で卒業。指揮を斎藤秀雄に師事。1972年、東京交響楽団でデビュー、1973年から1977年まで正指揮者を務める。1974年、ルパート指揮者コンクール第3位。1978年、ジュネーブ国際音楽コンクール指揮部門で優勝。1975年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団を創立し、1992年まで17年間にわたって常任指揮者を務めた。1988年から1992年までは札幌交響楽団専属指揮者も兼務。

国際的にも幅広く活躍しており、ロンドン交響楽団、スイス・ロマンダ管弦楽団に客演。1991年3月にはズビン・メータの代役としてベネズエラ国立シモンボリーバル交響楽団に客演、4月には同交響楽団を率いて日本公演を行い、東京、名古屋、大阪、神戸の4都市で大成功をおさめた。我が国におけるバレエ音楽の一人者として松山バレエ団1988年エディンバラ音楽祭、1991年ニューヨーク、ワシントンDC公演、1992年北京・上海公演、またボリス・エイフマン率いるレニングラードバレエシアター(1992年・1994年・1996年)、ルドルフ・ヌレイエフ、パトリス・パール、フリオ・ボッカ、ホセ・カレーニョ、ウラジミール・マラーホフ、ノエラ・ポントワ、エバ・エフドキモア、イヴリン・ハート、フランチェスカ・ズンボー、コンスタンツ・ベルノン、ベラ・キーロワ、ヴィヴィアナ・デュランテをはじめ多くの世界のトップダンサーたちの舞台を指揮、彼らから絶大な信頼を得ている。1993年ロイヤルチェンバーオーケストラを設立し、これを母体に1997年、デビュー25周年の年にロイヤルメトロポリタン管弦楽団を組織する。1994年のバレンシア管弦楽団(スペイン)への客演以来休止していたヨーロッパでの活動を2005年に再開。4月に実施した、ロイヤルチェンバーオーケストラヨーロッパ演奏旅行(アイルランド・ベルギー・ルクセンブルグ・イタリア 4ヶ国・6都市)を皮切りに、5月ルクセンブルグ室内オーケストラ、7月イタリアのラヴェッロ音楽祭で、ペルゴレージのオペラ「奥様女中」他を指揮。大成功を収めた。2006年には、モーツァルトの生誕250周年を記念して、ミラノのエルベ劇場で行われた、モーツァルト=ダ・ポンテ3部作シリーズの「ドン・ジョヴァンニ」をモーツァルトの誕生日1月27日の公演を指揮する栄誉を得た。2009年10月、中国政府の招聘により、人民解放軍総政歌劇団の客演指揮者としては、初の外国人指揮者として、オペラ「ムラン」を北京にて指揮した。

ロイヤルチェンバーオーケストラ、及びロイヤルメトロポリタン管弦楽団音楽監督、梓室内管弦楽団音楽監督、静岡交響楽団音楽監督、NPO法人静岡交響楽協会副理事長、桐朋学園大学講師、岐阜国際芸術祭芸術監督、牧阿佐美バレエ団音楽監督、井上バレエ団音楽監督。東京シティ・フィル桂冠指揮者。

倉敷管弦楽団 Kurashiki Orchestra

「美しい音色とよいアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年に設立され、文化都市倉敷市にふさわしい若さと熱気に満ちた楽団として活躍を続け、今年で35年目になります。

その間、昭和57年には岡山県教育関係功労者表彰、昭和60年には倉敷市文化連盟賞、平成16年には三木記念助成金、平成18年には福武文化奨励賞を受賞しました。また平成18年には常任指揮者の菊池東氏が倉敷市文化章を受章しました。

毎年1回開催する定期演奏会では、これまで客演指揮者に早川正昭氏、堤俊作氏、金洪才氏、佐渡裕氏、星出豊氏、田中一嘉氏、増井信貴氏ら、フルートでは世界的巨匠ジャン・ピエール・ランパル氏、ヴァイオリンでは、イヴリー・ギトリス氏、前橋汀子氏、漆原啓子氏、天満敦子氏、アナスタシア・チェボタリョワ氏、久保陽子氏、ピアノの深沢亮子氏、伊藤恵氏、花房晴美氏、ウラジミール・オブチニコフ氏、ルース・スレンチェンスカ氏、チェロの岩崎洸氏、山崎伸子氏、オーボエの茂木大輔氏、トランペットの津堅直弘氏、ホルンの松崎裕氏、ギターの福田進一氏らを招聘。また岡山県内で活躍している演奏家との共演も数多く行っています。倉敷音楽祭へも毎年のように出演し、ミュージカル「11匹のネコ」、ヘンデル「メサイア」、プッチーニ「ラ・ボエーム」、團伊玖磨「夕鶴」、ビゼー「カルメン」、モーツァルト「フィガロの結婚」その他を演奏しました。県内のオーケストラを聞く機会が少ない地域へも毎年のように出向いて演奏会を開いて来ました。

演奏曲目はバロックから現代曲まで幅広く、團伊玖磨氏作曲「管弦楽のための高梁川」、小六禮次郎氏作曲「瀬戸内賛歌」などを初演。オペラではモーツァルト「魔笛」、「フィガロの結婚」、「コシ・ファン・トゥッテ」、ビゼー「カルメン」、J・シュトラウス「こうもり」、プッチーニ「蝶々夫人」等を演奏。

創立10周年記念演奏会では400名からなるベートーヴェン「第九」、20周年ではイヴリー・ギトリス氏、岩崎洸氏との「コンチェルトの夕べ」を開催し、30周年ではマーラー「交響曲第1番・巨人」を演奏しました。

倉敷管弦楽団 今後の予定

2010年3月22日(月、祝日) 15:00
倉敷市民会館
第24回倉敷音楽祭 倉敷管弦楽団演奏会
伊福部昭 交響譚詩
真島俊夫 三つのジャポニスム
レスピーギ ローマの祭り 他
指揮: 菊池 東
津軽三味線: 木乃下真市

2010年6月27日(日) 14:30
倉敷市民会館
第36回定期演奏会
ブラームス 交響曲第1番
ラフマニノフ ピアノ協奏曲第2番 他
指揮: 角田鋼亮
独奏: 松本和将

倉敷管弦楽団

団長／田辺幹夫 常任指揮者／菊池 東

ソロコンサートマスター／佐藤真理子 コンサートマスター／阿曾沼和代

運営委員長／松江雄二 運営委員／岡崎将丈 大西智幸 原田由紀恵 澤田秀実

Violin1	佐藤真理子 岡崎千瑞子 藤田 真理 山根 範子	阿曾沼和代 金川 理恵 松尾 愛子	◎原田由紀恵 小林 佐知 丸山 博樹	飽浦 良和 下山 泉 森安 鋭子	大倉 尚子 平松 綾 柳井 典子
Violin2	中塚えりか 大瀬戸景子 日笠 京子	大村 奈美 岡崎 将丈 三宅 郁子	◎上原 保美 清久 彩 村上 節美	荒木 幸治 杉山 晃一	稲田まどか 鈴木 文香
Viola	◎松江 靖子 小村 知子 ※山口 俊一	菊池 東 武本 克己	岩瀬 裕子 八木原周平	大塚 浩二 山本 有恒	片山佳央理 ※山下 徳美
Violincello	◎松江 雄二 甲田 愛 松本 圭子	石川 恵子 田中 光子	大西 智幸 田辺 幹夫	栗木由美子 辻田 順子	黒田 正典 平松 眞弓
Contrabass	◎本屋敷勝信 ※久保 司	田中 佳子 ※仲原 利江	土井 幸雄 ※原田 一平	平松 博之	※岡崎謙一郎
Flute	◎坂井 昌子	小池かほる	月本 裕子		
Oboe	瀬尾 祥治	吉田 容子	米村奈保子		
Clarinet	◎松本美和子	小笠原泰志			
Fagotto	※西牧 岳	※天本 裕子			
Horn	◎加藤 友美 吉市 幹雄	大島 賢治	加藤 充美	澤田 秀実	中藤 都
Trumpet	◎澤本 重朝	原田 宗範	松尾 健一	山本 有恒	
Trombone	松尾 浩寿	※宇佐美朋子	※松田英一郎		
Tuba	※中元 大				
Percussion	◎高尾 暢子	※井上 充隆	※河田江理奈	※福島 智美	※福田 晴香

◎パートリーダー ※客演

S.50.12.8

第1回定期演奏会

指揮／菊池 東
ヘンデル／合奏協奏曲Op6・10
ヴィヴァルディ／
協奏曲集「四季」より<春><夏>
バッハ／
カンタータBWV202、
ブランデンブルク協奏曲第4番
小山清茂／弦楽の為のアイヌの歌

S.51.11.16

第2回定期演奏会

指揮／早川正昭
チェロ／山崎伸子
ヴィヴァルディ／
2つのトランペットの為の協奏曲
バッハ／
ブランデンブルグ協奏曲第1番
レスピーギ／
リュートの為の古代舞曲とアリア第3組曲
ボッケリーニ／チェロ協奏曲変ロ長調

S.52.9.24

ランバルと管弦楽の夕べ

指揮／早川正昭
フルート／ランバル
テレマン／フルート協奏曲二長調
モーツァルト／
フルート協奏曲第1番ト長調 ほか

S.53.1.8

第3回定期演奏会

指揮／フォルカー・レニッケ
ヴァイオリン／和波孝禧
ヘンデル／水上の音楽（ハレ版）
モーツァルト／
ヴァイオリン協奏曲第3番
ドボルザーク／弦楽セレナーデホ長調

S.53.12.10

第4回定期演奏会

指揮／菊池 東
ピアノ／深沢亮子
ブリテン／シンブルシンフォニー
バッハ／
2つのヴァイオリンの為の協奏曲二短調
モーツァルト／交響曲第38番二長調
モーツァルト／
ピアノ協奏曲第20番二短調

S.54.12.9

第5回定期演奏会

指揮／菊池 東
チェロ／安田謙一郎
モーツァルト／交響曲第40番ト短調
ハイドン／チェロ協奏曲第2番二長調
ベートーヴェン／交響曲第1番ハ長調

S.55.5.31

「管弦楽の為の高梁川」初演発表会

指揮／團伊玖磨 菊池 東
ワーグナー／
「ニュルンベルグのマイスタージンガー」前奏曲
モーツァルト／

交響曲第38番二長調「ブラハ」
團伊玖磨／管弦楽の為の高梁川

S.55.12.7

第6回定期演奏会

指揮／堤 俊作
オーボエ／ディーテルム・ヨナス
モーツァルト／オーボエ協奏曲ハ長調
ヘンデル／合奏協奏曲Op.6-6
ドボルザーク／
交響曲第9番ホ短調「新世界より」

S.56.6.9

第7回定期演奏会

指揮／早川正昭
モーツァルト／
ディヴェルティメント二長調
ビゼー／「アルルの女」第2組曲
ベートーヴェン／交響曲第7番イ長調

S.57.6.6

第8回定期演奏会

指揮／古谷誠一
ベートーヴェン／「エグモント」序曲
モーツァルト／交響曲第41番ハ長調
「ジュピター」スメタナ／
交響詩組曲「わが祖国」より
《高い城》《モルダウ》

S.58.12.11

第9回定期演奏会

指揮／湯浅卓雄
ヴァイオリン／豊田弓乃
モーツァルト／
「フィガロの結婚」序曲
メンデルスゾーン／
ヴァイオリン協奏曲ホ短調
ベートーヴェン／
交響曲第3変ホ長調「英雄」

S.59.6.2

玉島文化センター落成記念コンサート

指揮／菊池 東
スッペ／「詩人と農夫」序曲
團伊玖磨／管弦楽の為の高梁川
ベートーヴェン／
交響曲第5番ハ短調「運命」

S.59.12.2

倉敷第九演奏会（第10回定期演奏会）

指揮／堤 俊作
ベートーヴェン／
「レオノーレ」序曲第3番、交響曲第9番二短調「合唱付」

S.60.6.1

第11回定期演奏会

指揮／金 洪才
トランペット／津堅直弘
ドビュッシー／小組曲
フンメル／トランペット協奏曲変ホ長調
ブラームス／交響曲第2番二長調

S.61.6.1

第12回定期演奏会

指揮／佐渡 裕
ヴァイオリン／守屋美枝子
ヴィオラ／江島幹雄

シベリウス／組曲「カレリア」
モーツァルト／協奏交響曲変ホ長調
メンデルスゾーン／
交響曲第3番イ短調「スコットランド」

S.62.6.7

第13回定期演奏会

指揮／佐渡 裕
モーツァルト／
交響曲第35番二長調「ハフナー」
ブラームス／交響曲第1番ハ短調

S.62.11.3

S.62.11.29

二期会中国支部オペラ公演

指揮／星出 豊
ビゼー／「カルメン」

S.63.6.5

第14回定期演奏会

指揮／古谷誠一
ヴァイオリン／景山誠治
モーツァルト／
「ドン・ジョバンニ」序曲
チャイコフスキー／
ヴァイオリン協奏曲二長調
交響曲第4番ハ短調

H.1.6.4

第15回定期演奏会

指揮／星出 豊
ヴェルディ／「ナブッコ」序曲
ヘンデル／水上の音楽（抜粋）
ブラームス／交響曲第4番ホ短調

H.1.11.11～12

二期会中国支部オペラ公演

指揮／松井和彦
J.シュトラウスⅡ世／「こうもり」

H.2.6.3

第16回定期演奏会

指揮／田中一嘉
ピアノ／伊藤 恵
メンデルスゾーン／
序曲「フィガロの洞窟」
ベートーヴェン／
ピアノ協奏曲第5番変ホ長調「皇帝」
交響曲第6番ハ長調「田園」

H.3.6.2

第17回定期演奏会

指揮／田中良和
チェロ／岩崎 洸
ロッシニ／
「セヴィリアの理髪師」序曲
ドボルザーク／チェロ協奏曲口短調
チャイコフスキー／
交響曲第6番口短調「悲愴」

H.3.10.6

中国二期会オペラ公演

指揮／中村 健
フンパーディンク／
「ヘンゼルとグレーテル」

The 35th Regular Concert

History of Concert ● 主な演奏会記録

H.4.3.19
H.4.3.26
第6回倉敷音楽祭前夜祭
指揮／菊池 東
青島広志／ミュージカル「11匹のネコ」

H.4.5.31
第18回定期演奏会
指揮／小出雄聖
ギター／福田進一
ビゼー／組曲「カルメン」より
ロドリゴ／アランフェス協奏曲
シベリウス／交響曲第2番ニ長調

H.5.3.20
第7回倉敷音楽祭オープニング
コンサート
指揮／菊池 東
ショスタコヴィッチ／
オラトリオ「森の歌」 ほか

H.5.6.6
第19回定期演奏会
指揮／増井信貴
ピアノ／伊藤 恵
チャイコフスキー／
幻想序曲「ロメオとジュリエット」
ベートーヴェン／
ピアノ協奏曲第4番ト長調
ブラームス／交響曲第3番ハ長調

H.5.11.27～28
倉敷管弦楽団特別演奏会
〔芸文館開館記念事業〕
指揮／菊池 東
ヴァイオリン／漆原啓子
グリーンカ／
「ルスランとリュドミラ」序曲
ブルッフ／
ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調
ドボルザーク／
交響曲第9番ホ短調「新世界より」

H.6.6.5
第20回定期演奏会
指揮／金 洪才
ホルン／松崎 裕
ブラームス／大学祝典序曲
R.シュトラウス／
ホルン協奏曲第1番変ホ長調
ショスタコヴィッチ／
交響曲第5番ニ短調

H.6.11.12～13
中国二期会オペラ公演
指揮／時任康文
モーツァルト／「魔笛」

H.6.12.18
コンチェルトのタベ
〔倉敷管弦楽団20周年記念〕
指揮／飯森範規
ヴァイオリン／イヴリー・ギトリス
チェロ／岩崎 洸
ブラームス／
ヴァイオリンとチェロの為の二重協奏曲イ短調 ほか

H.7.3.18
第9回倉敷音楽祭オープニング
コンサート
指揮／菊池 東
ヘンデル／オラトリオ「メサイア」

H.7.6.4
第21回定期演奏会
指揮／金 洪才
ピアノ／花房晴美
ボロディン／
「イーゴリ公」よりダッタン人のおどり
ラフマニノフ／
ピアノ協奏曲第2番ハ短調
チャイコフスキー／
交響曲第5番ホ短調

H.8.5.26
第22回定期演奏会
指揮／金 洪才
琵琶／陶 敬頼
バーバー／弦楽のためのアダージョ
呉相強・王燕樵・劉徳海／
琵琶協奏曲「草原小兄妹」
ベルリオーズ／幻想交響曲ハ長調

H.8.9.1
横山恵子&リヒャルト・ブルンナー
～アリア名曲集を歌う～
指揮／菊池 東
ソプラノ／横山恵子
テノール／リヒャルト・ブルンナー
モーツァルト、ヴェルディ、プッチーニ
等のアリアガラコンサート

H.9.3.15～16
第11回倉敷音楽祭
指揮／山上純司
プッチーニ／「ラ・ボエーム」

H.9.5.25
第23回定期演奏会
指揮／小野田宏之
オーボエ／茂木大輔
モーツァルト／
交響曲第39番変ホ長調
オーボエ協奏曲ハ長調
ムソルグスキー・ラヴェル／
組曲「展覧会の絵」

H.10.3.14～15
第12回倉敷音楽祭
指揮／菊池 東
青島広志／
ミュージカル「温羅と桃太郎」

H.10.5.31
第24回定期演奏会
指揮／金 洪才
ヴァイオリン／天満敦子
ウェーバー／「オベロン」序曲
シベリウス／
ヴァイオリン協奏曲ニ短調
ブルックナー／
交響曲第4番「ロマンティック」

H.11.5.30
第25回定期演奏会
指揮／増井信貴
ピアノ／若林 顕
ブラームス／ピアノ協奏曲第2番
ラフマニノフ／交響曲第2番

H.12.5.28
第26回定期演奏会
指揮／増井信貴
プロコフィエフ／交響曲第1番「古典」
リスト／交響詩・前奏曲
ブラームス／交響曲第2番

H.13.5.27
第27回定期演奏会
指揮／田中良和
ピアノ／有森 博
ドヴォルザーク／序曲「謝肉祭」
ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第3番
シベリウス／交響曲第1番

H.14.3.17
オペラ「夕鶴」公演
〔第16回倉敷音楽祭〕
指揮／菊池 東
團伊玖磨／夕鶴

H.14.5.26
第28回定期演奏会
指揮／牧村邦彦
ヴァイオリン／
アナスタシア・チェボタリョワ
ベルリオーズ／
序曲「ローマの謝肉祭」
チャイコフスキー／
ヴァイオリン協奏曲
チャイコフスキー／
交響曲第6番「悲愴」

H.15.3.15～16
オペラ「カルメン」公演
〔中国二期会創立30周年記念〕
指揮／船曳圭一郎
ビゼー／カルメン

H.15.5.25
第29回定期演奏会
指揮／平井秀明
ヴァイオリン／久保陽子
ロッシーニ／どろぼうかざさぎ
ブラームス／ヴァイオリン協奏曲
ドヴォルザーク／交響曲第7番

H.16.5.29
第30回定期演奏会
指揮／田中一嘉
バーンスタイン／キャンディード序曲
レスピーギ／
リュートのための古風な舞曲とアリア第2組曲
マーラー／交響曲第1番「巨人」

H.17.1.30
ルース・スレンチェンスカ
三大協奏曲コンサート
指揮／迫 昭嘉
ピアノ／ルース・スレンチェンスカ

リスト／ピアノ協奏曲第1番
ショパン／ピアノ協奏曲第2番
チャイコフスキー／
ピアノ協奏曲第1番

H.17.5.29
第31回定期演奏会
指揮／田中一嘉
モーツァルト／
交響曲第38番ニ長調「ブラハ」
リヒャルト・シュトラウス／
交響詩「ドン・ファン」
ブラームス／
交響曲第4番ホ短調

H.18.5.28
第32回定期演奏会
指揮／増井信貴
ウェーバー／
歌劇「魔弾の射手」序曲
メンデルスゾーン／
交響曲第4番イ長調「イタリア」
リムスキー＝コルサコフ／
交響組曲「シェエラザード」

H.18.10.22
第4回おかやま県民文化祭総合フェスティバル
ー「和と洋」音楽の祭典ー
指揮／菊池 東
ブラームス／
ハイドンの主題による変奏曲

H.19.3.21
第21回倉敷音楽祭
倉敷舞台芸術公演
「バレエ&オーケストラの饗宴」
音楽監督／指揮：堤俊作
総監督／後藤田恵子
コッペリア、白鳥の湖、眠れる森の美女、くるみ割り人形、ドン・キホーテより
ムソルグスキー（ラヴェル編曲）／
組曲「展覧会の絵」（全曲）

H.19.5.27
第33回定期演奏会
指揮／曾我大介
スメタナ／
歌劇「売られた花嫁」序曲
モーツァルト／
交響曲第41番「ジュピター」
ストラヴィンスキー／
組曲「火の鳥」（1945年版）

H.19.9.8
倉敷管弦楽団&さだまさし・渡辺俊幸
～コラボコンサート～
指揮／渡辺俊幸・菊池 東

歌・語り／さだまさし
さだまさし／主人公、北の国から等

H.19.10.28
倉敷の小中学生に贈る素敵な音楽会
世界一聴きたい 青島広志のおもしろコンサート
指揮・語り／青島広志
モーツァルト／フィガロの結婚 序曲、きらきら星変奏曲ほか

H.19.11.3
第5回おかやま県民文化祭総合フェスティバル
オーケストラの祭典
指揮／菊池 東・杉本賢志
ベートーヴェン／交響曲第7番
合同演奏 エルガー／
行進曲「威風堂々」第1番

H.20.1.27
松本和将with倉敷管弦楽団
指揮／菊池 東
ピアノ／松本和将
グリーグ／
「ペールギュント」第1組曲
グリーグ／
ピアノ協奏曲 イ長調
ショパン／
ピアノ協奏曲第1番 ホ短調

H.20.6.22
第34回定期演奏会
指揮／金 洪才
メンデルスゾーン／
「真夏の夜の夢」より
プロコフィエフ／
「ロメオとジュリエット」より

H.20.9.21
屋下がりのコンチェルト
指揮／菊池 東
岡本都：グリーグ／
ピアノ協奏曲イ短調
奥田知世／
ミュージカル「キャッツ」より「メモリー」
「オズの魔法使い」より「虹の彼方に」
奥田昌世：モーツァルト／
「コジ・ファン・トゥッテ」より「妹よ、ご覧なさい」
重利和徳：サン・サーンス／
ピアノ協奏曲第5番
ヴァディム・チジク：チャイコフスキー／
ヴァイオリン協奏曲ニ長調

H.20.10.4
興譲館高等学校＜朋友祭＞演奏会
指揮／菊池 東

ジョン・ウイリアムス／
レイダース・マーチ
ベートーヴェン／
交響曲第7番より第1楽章
ビゼー／
「アルルの女」よりメヌエット、ファランドール
ドボルザーク／
交響曲第9番「新世界」より第2、第4楽章
エルガー／威風堂々
ヨハン・シュトラウス／
ラデツキー行進曲

H.20.12.21
山陽女子高等学校音楽科
第42回定期演奏会
指揮／菊池 東
高瀬鈴子：モーツァルト／
ピアノ協奏曲第20番 第3楽章
山邊沙織：モーツァルト／
歌劇「ドン・ジョバンニ」から「ぶつてよマゼット」
ミュージカル「マイフェアレディ」から「踊り明かそう」
矢木紀子：ショーン／詩曲
ブッチーニ／
歌劇「つばめ」から「ドレッタの夢」
奥田昌世：ウェーバー／
歌劇「魔弾の射手」から「姿りりしき者は来る」
近藤邦彦：リスト／
ピアノ協奏曲第1番

H.21.2.1
岡山県郷土文化財団・勝央町演奏会
指揮／菊池 東
ジョン・ウイリアムス／
レイダース・マーチ
ルロイ・アンダーソン／
シンコペーテッド・クロック
プリנק・ブランク・ブランク
トランペット吹きの休日
ベートーヴェン／
交響曲第7番イ長調 第1楽章
ビゼー／カルメン第1組曲より

H.21.3.16
第23回倉敷音楽祭
倉敷管弦楽団演奏会
指揮／菊池 東
ピアノ／山田英代
真島俊夫（編曲：佐藤正俊）／
五つの沖縄民謡による組曲
ベートーヴェン／
ピアノ協奏曲第1番ハ長調
ドヴォルザーク／
交響曲第9番「新世界より」

倉敷管弦楽団 団員募集

定例練習日 毎週月曜日 午後7：00～9：30
練習場所 倉敷市文化交流会館
団員資格 オーケストラ経験者で、練習・演奏会に参加できる人
募集パート 全パート
●お問い合わせは 田辺幹夫／☎086-263-3521 菊池 東／☎086-522-5145
http://kurakan.org/kurakan-blog/